

発 行 所

〒793-8555
愛媛県西条市西田甲797番地

石鎚神社・石鎚本教
電話 (0897) 55-4044

5・6月号

五月一日
頂上社
開門



道

コロナウイルスが全国、世界中に猛威を振るっています。

今、私たちに大切なことは、うつらない事、うつさない事、そして、大切な人を守る事。

コロナは親しい人との距離を広げる、疫病です。

世にはびこる怪しき病の

日本の神の御国に

なにするものかは

真に恐ろしきは

病にもまして

人の心の迷いと覚へ

互いに譲り合い、思いやる心。ちよつとした日々の善行が、その人の人格を向上させます。それがお陰を戴いた事になるのでしよう。

日常生活において、教養ある文化人でありたいとの想いを常に念頭に置き、他人を押しつける権利など誰にも無いことを自覚する時ではないでしょうか。武智。

【お山開き大祭 神事は例年通り 斎行します】

ご参拝は お控えください

世界中に、新型コロナウイルス感染症が、拡大しています。

この世界の非常事態には、皆さまの健康と安全を
最大限に確保しつつ、お山開き大祭の神事を、例年の通り、
厳修することを第一義と致します。

ご移動を控え、霊峰石鎚山を遥拝くださいますよう、お願いします。

- 頂上社、成就社、土小屋遥拝殿、本社にて、宮司始め神職、地元役員等にて、お山開き大祭の神事を、例年通り、厳行します。
- 感染症の一日も早い鎮静化と、国家安泰、世界平和、すべての命の幸福を、日々、懸命にお祈りします。
- 皆さま、教会、遥拝所、講社、自宅の御神前にて、ご一緒にお祈りください。

◆大祭中の御神像御動座、及び、諸応対 本年のみ

- ・御神像御動座 本社 ⇄ 成就 ⇄ 頂上 神職、西条市の総代にて奉仕。
- ・御神像拝戴・内陣入 頂上社、成就社、土小屋遥拝殿、本社で、受付を停止中。
- ・女人禁制 厳守します。
- ・登山切符 取り扱いは、ありません。
- ・成就社組合窓口 開設は、ありません。
- ・救護班 登山道中の救護班のご奉仕は、ありません。
- ・預かり賽銭 本社へ郵送ください。神納の後、お下がりをお送りします。
- ・お初穂料 同上。
- ・御祈祷 本社へ郵送にて、お申し込みください。
- ・お守り、御神酒 同上。本年のみ、頂上社神札、お守りを郵送します。
ご神水は、本社のペットボトル500mlのみ。
- ・頂上献酒 行います。本社へお申し込みください。
- ・現参之儀 行いません。現参への御志にて初穂料をお供えの方は、
現参の必要体数をお教えください。本年のみ、郵送します。
- ・当病平癒祈願祭 成就社にて斎行します。組合長、経由。
- ・頂上山荘 物販と緊急避難小屋に徹す。7月末迄、宿泊停止。延期も有。

◆新会符、先達昇進、教師昇進のお申込みは、本社へ

- ・受付期間、7月10日まで。7月1日付で発令、大祭後、順次発送します。

四月五日 石鎚神社春季例大祭さくら祭り 併
 新型コロナウイルス感染症流行鎮静祈願祭 並臨時大祓式 厳肅裡に齋行

去る四月五日(日)桜花爛漫晴天の中、石鎚神社口之宮本社御本殿におきまして石鎚神社春季例大祭が厳肅裡に齋行されました。



振行事、御本殿における奉納行事は中止とさせて頂きました。夜半過ぎから清めの雨も、朝方には止み凜とした空気の中、



今年の春季例大祭は新型コロナウイルス流行の為、ご参列の皆様のご安全と健康を最優先に考慮し、御本殿へのご参拝をお控えしていただき、ご自宅よりの遥拝を本社よりお願い申し上げます。また、神輿渡御や、稚児行列、お茶席、お餅投げなどの神

- | | |
|----|------------|
| 湊 | 照彦 |
| 伊藤 | 常務総代・本教理事 |
| 十亀 | 光貞 |
| 藤原 | 常務総代・本教理事 |
| 田窪 | 貴文 |
| | 氏子総代・評議員 |
| | 氏子総代・評議員 |
| | 一善 |
| | 本教理事・睦美教会長 |



始の皆様方に全国各地の信徒の皆様のご総代としてご列を賜り、午前十時より祭典を齋行。開式太鼓の後、神御衣の献上撤下を奉り、神御衣が下付され、また岡山県 備中鬼石組遥拝所 新居浜市 矢野 棟子氏

新居浜市 大西 彌太郎 元老の方々に御奉納頂きました。



武智宮司・管長が春季例大祭を言祝ぐ祝詞を奏上した後、感染症の流行の一日も早い鎮静化を願う大祓詞十巻を武智宮司・管長の先導により祭員、参列者一同にて斉唱、続いて巫女が浦安の舞を奉納し御神霊を和め奉り、玉串を奉り拝礼し、今日の日を御祝い申し上げ報恩感謝の誠を捧げ厳肅に祭典を終了致しました。



大祓詞十巻 斉唱



玉串拝礼



浦安の舞
奏進



臨時大祓式を齋行
 例大祭に続き、世界に拡散拡大される疫病の鎮静と罹患した方々の早期回復、世界中の安寧、天下国家・各人の祓いの祈りを込め大祓詞を奏上し石鎚大神様に請願する為、臨時大祓式を御本殿前にて齋行致しました。事前に全国各地の教会、遥拝所、講社、崇敬者の皆様より人形（ヒトガタ）をお預かりし、宮司以下祭員一同十亀権宮司の先導のもと大祓詞を斉唱の後、浄火で祓物、人形約二千体を焚き上げ致し臨時大祓式を終了致しました。



また、四日午後五時より齋行の前夜祭においても十亀権宮司先導のもと大祓詞三巻を武智宮司以下祭員一同で斉唱し、感染症の鎮静化を石鎚大神様に御祈念申し上げます。



出仕 岡内 記
(御芳名は順不同、敬称略)

春季例大祭の規模を縮小致しましたが齋行出来ました事を厚く御礼申し上げます、新型コロナウイルスの一日も早い終息を祈念し信徒の皆様は今後益々のご健勝とご多幸を心よりお祈りしご報告と致します。



大分市	新居浜市	西条市	尾道市	廿日市市	松山市	福山市	西予市	松山市	西条市	山陽小野田市	西条市	北九州市	柳井市	別府市	今治市	札幌市	室戸市	松山市	京都郡	京都郡	西予市	福岡市	西条市	所沢市	西条市	松山市	新居浜市	香南市	松山市					
中山	渡邊 雅子	曾我部孝雄	大出 隆藏	初島 幸成	竹内 玉子	松下 幸一	中村 久国	露口 幸記	伊藤 道夫	原田 浩一	今井庄一郎	梶原 倫子	河村 英樹	帯刀 康男	木元 裕子	小玉百々代	坂本 英恵	山本 俊介	白石 順子	牧野 英教	本田 正美	裏邊 恵子	佐伯 信男	寺岡 正美	桑原隆次郎	白石 崇	大岡 忠臣	出原 康代	小林亜紀代					
廿日市市	大洲市	松山市	渋谷区	西条市	坪生講社	松山市	◎五千円以上	飯塚市	西条市	伊予市	西条市	松山市	西条市	西条市	今治市	今治市	西条市	松山市	今治市	新居浜市	玉名郡	荒尾市	玉名郡	玉名郡	玉名郡	玉名郡	玉名郡	大分市	土佐市	柳井市				
片山 辰馬	宮田 昭	武智 由定	(株)神社新報社	明比 昭治	栗田 和夫	西原 和男		岡田 光夫	猪谷アヤ子	丹下 裕	白石 文高	扇崎古三陽	めしや菓舗	徳永カツミ	松木 高秀	鈴木 昭南	扇崎秀一古	田窪 正子	河端 光則	塩山しのぶ	本多利美子	宮崎 実可	松崎 福美	松崎 文子	松崎 光代	佐々木美代子	川口 忠男	古磯 崇						
			(順不同・敬称略)																															

令和二年三月
初穂料奉納者

◎百万円以上
伊藤 性一

◎十万円以上
岡田 廣恵
(順不同・敬称略)

本社での五千円以上のお初穂奉納者につきましては、本社本殿前掲示板に掲載させていただきます。ご奉納心から篤くお礼申し上げます。

文責 権禰宣
曾我部洋輔

四月六日 祖霊殿 秋季例大祭・合祀祭齋行

境内ご鎮座の祖霊殿は、石鎚山開山の祖・役小角をはじめ社司・宮司、霊峰石鎚の為に力添えを戴きました先達・教師・特別崇敬者にて帰天されました方々をお祀りしており、毎年四月・十月の六日、午前十時より例大祭並びに合祀祭を齋行しています。

当日は春日和のもと、地元神社役員のご参列を戴き齋行されました。

合祀されました御霊の在りし日の面影を偲び、思い出の数々を顧みる中に凜としたお姿、また皆を導く大きな背中、優しいお顔を思い出しながら御霊安かれと祈念致しました。先達・教師の皆様が築かれました篤志を、また優しき御心を継がれ、よりよき信徒となられる事をお願い致します。この度合祀されました新祭神をご紹介申し上げますと共に、ご冥福をお祈り申し上げます。

御案内

※今般合祀・またすでに合祀して御遺族様には該当の命日月(毎月十五日、月次祭終了後・案内は月を先取りして御案内差し上げています。引越し等で住所変更あります方はご報願います。

※祖霊殿春・秋例大祭のご案内につきましましては新祭神(合祀該当者)と過去三年以内に合祀されました御遺族の方へ案内を差し上げております。以外の御遺族様には特別にご案内をしておりませんが、是非とも御参列戴き、御霊和めの祭典を共に御奉仕したいと思います。

春秋大祭・命日祭への数多くの御参列をお待ちしております。

●先達会符の名義変更などお済みでない御遺族様、またご不明な点等ございましたら遠慮無く神社までご連絡下さい。

四月六日 祖霊殿合祀祭神名

元老大顧問 金笏
最高功労章 金笏
大教正 黒瀬 光一 大人命

大取締 大講義 矢間 軍次 大人命

元老大顧問 金笏
最高功労章 金笏
江藤 博治 大人命

特別崇敬者 徳永 敏次郎 大人命 (順不動)

元老大顧問 高寅 大人命
少教正 森田 高寅 大人命

元老大顧問 西原 季子 刀自命

名誉部長 原田 好道 大人命



**お山開き大祭 頂上社
御神酒奉納のご案内**

「祈り、命蘇る」霊峰石鎚山のお山開き大祭が目前に迫って参りました。

頂上社では頂上社専用の御神酒(一升紙パック)のご奉納を募っております。



初穂料 金一〇,〇〇〇円

ご希望の方は下記に住所・氏名・電話番号・登拝日・郵送先をご記入の上、本社へFAXもしくは郵送にてお申し込み下さい。

大祭後、お下がりを送ります。準備の都合上、**締切は六月二十日**とさせていただきます。

奉納者のご芳名を頂上山荘内に掲示致しますので、取りまとめでお申し込みの方は、奉納者全員分の名簿をお知らせ下さい。尚、お下がりの発送先も忘れずご記入下さい。

尚、本年は新型コロナウイルス感染症予防措置としてご参拝のお控えをお願いしておりますので、後日郵送させて頂きます旨、ご理解・ご協力をお願い致します。

※毎年奉納されています方は例年通りご案内を発送させていただきますので、そちらをご活用下さい。

申込先

〒七九三一八五五五
愛媛県西条市西田甲七九七
石鎚社頂上社御神酒奉納
担当 権禰宜 勝本貴大
TEL〇八九七―五五―四〇四四
FAX〇八九七―五五―七二四二



お山開き大祭 頂上社 御神酒奉納 申込書 令和 年 月 日

代表者	氏名		住所	
-----	----	--	----	--

〒

御神酒奉納者名簿

初穂料合計一金

円也

氏名		電話番号		郵送先 (○をお付け下さい)
住所	〒		登拝日	本人直送・代表者へ
氏名		電話番号		郵送先 (○をお付け下さい)
住所	〒		登拝日	本人直送・代表者へ
氏名		電話番号		郵送先 (○をお付け下さい)
住所	〒		登拝日	本人直送・代表者へ

1件(1人)につき10,000円

◎送金方法 ①郵便振替 ②銀行送金 ③現金書留

八大龍王社例大祭 祈願木ご案内

例大祭

八月八日(土)

午前十一時より

祈願木お焚き上げ

大祓詞・般若心経 奉読

●祈願木は成就社・本社にて

一本三百円にて頒布しております。

必要な方は本社へご連絡下さい。



三月二日 月次祭奉納演芸

橘大正琴

青野三千子様を始め十名の皆様

【演目】

- ・花嫁人形
- ・待ちぼうけ
- ・手まり歌
- ・荒城の月
- ・好きになつた人



◆石鎚本教宗教法人教会各位

令和元年度 所轄庁提出書類

準備をお願いします。

例年、ご案内申し上げております所轄庁（都道府県）への書類提出が間近となつてまいりました。該当教会におかれましては、提出準備進行中のことと存じます。

今一度記入提出要項を左記によりご案内申し上げ、再度確認を御願ひ致します。

記

一、書類作成期間及び所轄庁への書類提出期限

◎石鎚本教の包括教会は規則上すべて、七月一日に会計年度が開始され、翌年六月三十日終了となります。書類は会計年度終了後三ヶ月以内に作成し、四ヶ月以内に提出の為

七月一日より九月三十日迄に作成し、
十月三十一日迄に提出となります。

◇書類は一度本社にご送付いただき、確認後返送いたします。確認の時間などを考慮しますと九月末頃にはご送付いただきましたくお願い致します。

◇送付いただきました書類は本社の方でとりまとめ、各都道府県の担当課へ転送いたします。

◆記入上の注意◆

書類はすべて複写式になっています。カーボン紙を使用して記入すれば同時に教会の控えができるようになっていきます。記入できましたら切り取らずにそのままお送りいただければ結構です。尚、記入は一冊のみです。残りは次年度用に保存下さい。

尚、提出書類の不足により書式が必要な方は本教宗教局までご連絡をお願いします。

(提出書類送付先)

〒七七九三一八五五五

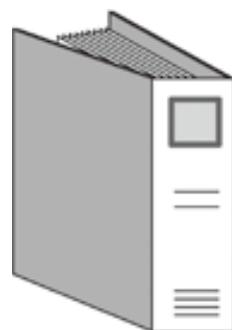
愛媛県西条市西田甲七九九

石 鎚 本 教 宗 教 局

曾我部 英司

電 話〇八九七―五五―四〇四四

F A X〇八九七―五五―七二四二



福岡神和教会
創立三十五周年奉祝大祭 齋行

最高功労章金笏 元老大顧問

大教正

佐伯 良子 教会長



令和二年二月二十二日午後二時より福岡県福岡市城南区の里に鎮まります、石鎚本教福岡神和教会の創立三十五周年大祭が斎行されました。

本社より武智宮司管長、十亀名誉宮司、湊権禰宜、勝本権禰宜、中西幸男筆頭常務総代、湊照彦常務総代、田窪一善本教理事、十亀悦子敬神婦人会名誉顧問、岩本昌美事務職、武智后代・柚薫の十一名が出向し、ご来賓として梶原倫子福岡崇敬組合長、山中将史防府教会会長、勝本房利敬祥教会会長がご臨席にな

られて、厳肅な空気に包まれる中、祭儀が進行いたしました。当日は朝から雨が降っていましたが、祭典の開始が近付くにつれて晴れ間が増え、昼過ぎには雨も嘘だったかのような晴天となりました。皆口々に袂ぎの雨だったと言っていました。まさに奉祝の祭儀を始めるに先立って清めの雨を頂き、心清々と臨めよと大神様より御神慮を賜ったのではと思う天気でした。



話を伺えば今回の大祭奉仕する教師の方の中に、初めて御神前奉仕する方が多数居られました。事前の練習を重ねに重ねて緊張の中にもすばらしい作法で各自の役割を全うされていました。



その御神前奉仕をされた教師の方々、役員、信徒の皆さんの姿には石鎚大神様への敬神の念はもとより、日々御神威の昂揚と信徒の弥栄を願う佐伯教会長の後姿への篤い感銘が見えるようでした。

福岡の地にて石鎚信仰の灯を点し他界された御先代のご遺志を受け継ぎ、日々修祓・修行・鎮魂の石鎚大神の御教

を厳修しその信仰の灯を大きな炎へと変え爛々と輝く現在へと導かれた現教会長の後ろ姿に付き従い、各々の役目を果たさんと努められる役員信徒の皆さんの姿が祭儀の中にも、普段の何気ない行動の端々にも見えていました。



昭和六十年に石鎚神社福岡神和遙拝所として開設され平成十一年に教会へと昇格し現在に至りますが、その始まりは前名誉宮司の武智昭典大人との御縁に端を発し、石鎚神社参拝、夏山開大祭の頂上登拜、三十六王子巡行を続ける中に信仰の輪が広がり大

神様との御縁を深められました。

教会の前身たる遙拝所開所より数え三十五年の月日を出しなが、佐伯教会長は夢枕に立たれた武智昭典大人より三十五年前の開所の折に贈呈された十二単を着装されて奉祝の祭儀に臨まれましたが、積み重なった想いと歴史を体現するが如くその姿、お声は凜として重々しく信徒の範たる姿でありました。

祭儀終了の後、来賓の方々
の挨拶がある中に、梅林寺の住職様がお話になられたのが佐伯教会長と初めてお会いになった際に大変驚いた思い出話でした。住職様は佐伯教会長が夏山大祭の頂上登拝する折に襪ぎの滝をお借りするようになったのがご縁で現在までお付き合ひがあるそうですが、初めて滝場を訪れた日は大荒れの天候の中、滝場まで来ることすら叶わないと思える状況の中、佐伯教会長が来られた途端に雲が割れ、先程までの大荒れの天気が嘘のよくな晴天となったそうです。

この方には大神様との大変深いご縁と御守護があられるのだなと思われたと思いい出を振り返っておられました。

今回の大祭も荒れた天気の中で齋行されるかと思う中で、清めの雨だったと皆が口にして晴天の中に御祭儀が粛々と執り行われたのは、住職様が感じられた御縁と御守護に依るところなのだと思います。



場所を移しての直会となり、会場にて役員・信徒の皆さんが一丸となって来賓の皆様を楽しませる為に様々な催しを行われていました。来賓、参加者への細部に至るまでの心配

りとおもてなしの心に感心しきりでした。



翌日からは佐伯教会長を始め役員の方々のご案内で様々な所を見学、参拝させていただきました。太宰府天満宮への参拝の際には天満宮御本殿での大祭奉仕の直前に大神様より御配慮賜り正式参拝が叶い、権宮司様を始めたくさんの方々に案内をして頂きました。その後は新元号の令和の典拠である万葉集巻五の「梅花詠卅二首」が詠まれた梅花の宴が開催された大伴旅人の邸宅があったとされる坂本八幡宮にも参拝しました。令和が

発表される以前は一日の参拝者数が数十人だったそうですが、現在では多い日は数千人の参拝があるとのこと、当日も参拝者の列が途絶えることが無いほどでした。奉祝大祭を中心に様々な御縁をいただいた事に感謝申し上げます。上げご報告いたします。福岡神和教会の弥益々の御繁栄と、教会長を始め役員・信徒の皆様方のご健勝とご多幸を祈念いたします。

【感謝状】

- | | |
|------|-------|
| 教会長 | 佐伯 良子 |
| 責任役員 | 福島 良子 |
| 責任役員 | 上廣 昭子 |
| 責任役員 | 田中 宏昌 |
| 責任役員 | 新川 隆 |
| 責任役員 | 諸熊 位枝 |
| 評議員 | 幸田千賀子 |
| 評議員 | 龍 大 |
| 信徒 | 龍 尚 |

(敬称略)

記 権瀬宜 勝本

東予崇敬組合協議員会 開催

日時 令和二年四月十八日
午前十時半より

場所 石鎚社会館一階

本社参席 武智宮司

平岡明常務総代

曾我部英司禰宜

曾我部洋輔権禰宜

組合参席 河端組合長

役員五名

河端組合長

元老顧問
権大講義



右記日程にて大正九年設立より本年度百周年の慶賀を迎える東予崇敬組合の協議員会が組合長を含め役員六名の参加にて開催されました。

当日はコロナウイルス感染症対策で三密を避ける為、出席者はマスク着用、席は二メートル以上離れ、窓を開けての会議となりました。

本年百周年を迎える東予崇敬組合が河端組合長を扇の要として益々御発展することを御祈念し、ご報告とさせていただきます。

会議は、組合長挨拶、本社挨拶、本社役員挨拶の後、議事へ進み、収支決算を河端組合長が報告、今年度の夏山開きの体制について武智宮司より本年の夏山は、感染症対策の為例年通りの体制では行えないと説明、組合大祭は五月三十一日に讃岐神大遙拝所にて、祭典のみ斎行する予定ですが、感染症拡大を鑑みて、五月中旬に開催の可能性もしくは延期を判断すると組合長から説明(後日延期が決まりました)、本社より土小屋奉賛の件を説明と御奉賛のお願いをして議事は終了、参加者一同で感染症の沈静化を祈り大祓詞を奏上して協議員会は閉会。

感染症拡大で移動にはリスクが伴う中、役員の皆様御参加頂きお疲れ様でした。通常の会議とは雰囲気異なりますが、参加人数も例年の四分の一程の人数でしたが、節目の年を迎える本年には必要な会議であったと思っております。

この会議以降は、本社にて県外からお越し頂く会議は当面の間行われません。この文をお読み頂いている方、石鎚大神様を敬う皆様、何事も無くお過ごし頂く事を心より祈るばかりです。

百周年を迎える東予崇敬組合の歴代の組合長を記載させて頂きます。(敬称略)

- 初代 加藤平太
- 二代 門脇亀鶴
- 三代 高橋亀太郎
- 四代 高橋萬次

- 五代 湊龍雄
- 六代 相原宗一郎
- 七代 真木正
- 八代 神崎武雄
- 九代 永易勇
- 十代 西川三津雄
- 十一代 芝昇
- 十二代 下川栄市
- 十三代 澁谷正俊
- 十四代 河端光則

記権禰宜 曾我部洋輔



役行者尊例大祭お火焚き祈願祭を斎行

風薫る中宮成就社より
 拝する霊峰石鎚山の谷筋に
 残雪の残る中、新緑の美し
 い初夏を思わせる好天に恵
 まれた去る四月三十日午前
 十一時より中宮成就社境内
 見返り遙拝殿内役行者尊
 立像の御前にて本年にて八
 回目となります役行者尊例
 大祭お火焚き祈願祭が斎行
 されました。



今年、新型コロナウイルス
 の感染予防の為、宮司以下
 職員は奉仕にて例大祭を厳
 粛に斎行致しました。

本殿を拝礼した後、霊峰
 石鎚山を遙拝し、武智宮司
 が祝詞を奏上次いで祭員一
 同で大祓詞、般若心経を一
 巻奏上、見返り遙拝殿前に
 組まれた護摩壇前に祭場を
 移し、全国各地から寄せら
 れた祈願木四百六十九体を
 一体一体名前、願意を神職が



読み上げ神火で十亀権宮司
 の手により各々の願いが成
 就するよう焚き上げました。
 本社、成就社の社頭にて
 年間を通じ祈願木の受付を

一体三百円のお初穂にて
 承っております。

また、今年は、疫病流行の
 為、参列はご遠慮いただきま
 したが、例大祭へのご参列の
 方には、当日のみの特別なお
 守りを贈呈致しております。



来年の役行者尊例大祭が
 多くの参列者の方々のご参
 列を賜り厳粛且つ盛大に斎
 行出来ますよう心よりご参
 列をお待ち申し上げており
 ます。



役行者尊の益々の神威発
 揚と信徒の皆様のご健勝と
 ご多幸をお祈り申し上げ報
 告と致します。

出仕 岡内 壮智 記

預かり賽銭のお願い

石鎚神社・石鎚本教で行われております三つの大祭に於きまして、期間中にご参拝出来ない信徒の皆様が、ご代表様、お世話人様に代理参拝をお願いし、皆様方のお賽銭をご奉納頂く「預かり賽銭」が昔より行われております。

この「ご奉納」を通じて、より多く皆様方に、大神様のご神徳を拝受して頂きたく存じます。

各教会・遙拝所・購社のご代表様は、御神徳発揚の為、二人でも多くの信徒皆様方へ、ご協力をお伝えして頂きたく存じます。

また、各教会・遙拝所・購社に所属の皆様方は、ご代表様、お世話人様にお尋ね下さい。お世話人様にご不明な方は、本社へご連絡をお願いします。

春季例大祭

毎年四月四日～七日
(例大祭は五日)

夏山開き大祭

毎年七月一日～十日

秋季例大祭

毎年十月四日～七日
(例大祭は五日)

◎お供え頂いた「預かり賽銭」の初穂料により、大祭毎に定められた御神札をお世話人様へお届け致します。後ほどお受け取りお祀りくださいませ。

※預かり賽銭の帳面は、大祭の約二ヶ月前までにはお届けいたします。

お問い合わせ先

愛媛県西条市西田甲七九七

石鎚神社・石鎚本教

TEL 〇八九七―五五―四〇四四

FAX 〇八九七―五五―七二四二

帰天

神社・本教 行政顧問

徳増 達史 大人命

三月二十二日
享年六十七才

石鎚神社・石鎚本教の行政顧問、公認会計士の徳増達史先生が急逝された。

昭和二十七年生。

情に厚く、あたたかなお人柄で、神社・本教の行政顧問として石鎚神社会館の会計を始め、本社また教会での土地建物の奉納や取得等にて、税務のご指導を戴いていた。

告別式は三月二十五日、西条市内で営まれ、武智宮司管長が参じ、

多くのご関係の皆さまと共に御霊に久遠のお別れを申し上げます。

御霊安かれとご冥福をお祈り申し上げます。

文責、武智。

喪主 嫡男 徳増 竜伍 殿

TEL 〇八九七―五五―六八六八

講習会中止のお知らせ

現在世界的に拡大し国内でも感染拡大しております、新型コロナウイルスの蔓延により、皆様の健康と安全を最大限に確保しつつ、開催予定しておりました講習会一つを中止させて頂き、ご理解の程宜しくお願い致します。

記

「石鎚青少年錬成会」

(令和二年八月十八日～二十一日)

並びに

「石鎚流太鼓打ち方講習会」

(令和二年八月二十九・三十日)

以上。

石鎚神社担当 山崎

令和二年 霊峰石鎚山お山開き大祭 幟旗奉納者募集 (十五本限定)



【奉納場所】

- 頂上社周辺 十本
- 本社本殿周辺 十五本

【奉納料】

- 金、五千円也 (一本)

※奉納場所は先着順にて

お受けいたしますが、

ご希望に添えない場合は
ご了承ください。

※荒天時は幟を格納する

場合があります。

※申込をいただきましたら、

振込用紙を送付させて
いただきます。

※今回は新型コロナウイルス

感染拡大の影響で

二ノ鎖小屋は閉鎖の為、

二ノ鎖小屋周辺への奉納は
ございません。

※ご不明な点は、

お問い合わせ下さい。

Tel 〇八九七―五五一四〇四四

(担当 大岡権禰宜)

中宮 土小屋遙拝殿 御鎮座五十周年奉祝 改修工事奉賛会

銅板御屋根の葺き替え

現在の御屋根は三十年来の風雨雪により、傷みが激しく雨漏りを行っています。このままでは御社殿自体の損傷が進むと考えられます。

新たに銅板にて御屋根を葺き替え、石鎚大神様が御鎮座されるにふさわしい御社殿になる様、計画致しました。

木部外壁部の張替・防水対策工事

御本殿外壁の木部は、長年の風雨雪や直射日光により木が割れ、横からの漏水が激しくなりました。

石鎚大神様の御鎮座される御社殿としてふさわしく、木部外壁の張替工事、防水対策工事も計画致しました。

周辺整備

御本殿のコンクリートの外回廊も前回の防水工事より年数を経て機能が低下してきました。

正面階段中央のモミの木が成長し、石畳が浮き上がり参拝者が躓く事も予想されます。

これからの維持管理の為、外回廊の防水工事・石畳の一部改修・また殿内の畳の取り替え等を計画致しました。

改修工事費

- ①銅板御屋根の葺き替え 五、二〇〇万円
- ②木材外壁部の張り替え・防水対策工事 一、八〇〇万円
- ③周辺整備 五〇〇万円

合計 七、五〇〇万円

奉祝費

- 一、奉祝大祭、奉祝式典、殿内掲額 一、〇〇〇万円
- 事務費、予備費 八、五〇〇万円

計 一、〇〇〇万円

ご奉賛頂きました皆様へは、下記の対応をさせていただきます。

奉賛金額	ご芳名	銅板記名	御神札	記念品	感謝状	掲額	ご案内
2,000円未満	○						
2,000円以上	○	○					
1万円以上	○	○	○				
5万円以上	○	○	○	○			
10万円以上	○	○	○	○	○	○	○
20万円以上	○	○	○	○	○	○	○
30万円以上	○	○	○	○	○	○	○
50万円以上	○	○	○	○	○	○	○
100万円以上	○	○	○	○	○	○	○

- ◎ご芳名 全てのご奉賛者のご芳名は、土小屋遙拝殿に永久保存
- ◎銅板記名 銅板へお名前を記名
※銅板記名対応は、御屋根葺き替え完成直前までとさせていただきます。
- ※下記は、工事完成後に対応させていただきます
- ◎御神札 本奉賛会にて特別に奉製された御神札
- ◎記念品 本奉賛会、記念品
- ◎感謝状 本奉賛会、感謝状
- ◎掲額 土小屋遙拝殿内に、ご芳名を掲額
- ◎ご案内 奉祝大祭にご案内
- ◎銅板奉納 ※1口・2,000円。・本社、土小屋遙拝殿社頭にて
・お名前の記入は1名とさせていただきます。・受付は、お世話人様を通じて。

令和2年4月3日撮影 足場を組む



4月14日・15日撮影 70cmの積雪



五月上旬 お屋根にて作業



西条市愛唱歌
『石鎚山』 「千の風になって」が大ヒット
 唄: **秋川雅史**

西条市を全国にPR するために、市民団体と当市が西日本最高峰「石鎚山」をテーマとした歌の制作を「千の風になって」の訳詞・作曲家である新井満さんに依頼して完成した西条市愛唱歌『石鎚山』。
 (西条市 HP より)



販売価格1,300円

\\ 好評発売中! //

石鎚神社会館 (担当: 山本・矢野)
0897-55-4168まで、お問合せ下さい。

お詫びと訂正

前号社報 (3・4月号) に掲載の長寿者御芳名に記載漏れがございました。お詫び申し上げます。掲載させて頂きます。

敬神婦人会
 ○安芸支部 松村妙子

文責 編集部

石 鎚 社 報

〒七九三一八五五五

(発行所) 西条市西田甲七九七

石鎚神社・石鎚本教

【連絡先】電話 (〇八九七)

五五―四〇四四 本社

五五―七二四二 FAX

五五―四二六八 会館

五五―七二八一 FAX

五九―〇二〇六 成就

五九―〇四〇八 FAX

五三―〇〇〇八 土小屋

【振替】〇二六八〇一〇一八三六〇

【発行代表者】 武智 正人

【編集】 曾我部 洋輔

【印刷所】 プリ・キユウ・プレス

【購読料】 送料共 年五〇〇円

石鎚神社 で 検索